

NFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の 頁
1. 現状の概要と今後の方向性		地区協会 委員会 シニア連盟
<p>シニア年代のサッカーは、現在O-35からO-70と年代層が幅広く、競技志向のチームから生涯スポーツとしてサッカーを楽しむチームまで参加しています。</p> <p>県リーグとして、O-35、O-40、O-50及びO-60の各カテゴリーでリーグ戦を開催するとともに、全国シニア（40歳以上）全国シニア（50歳以上）全国シニア（60歳以上）日本スポーツマスターズ（35歳以上）の北信越予選への参加資格を賭けた新潟県予選を開催しております。</p> <p>各チームは、学生、社会人でのサッカー経験者の受け皿としてだけでなく、少年サッカーの保護者等の未経験者までもが参加し、生涯スポーツとしてのサッカーを楽しんでおります。</p> <p>このようなシニア年代のサッカーをより盛んにするためには、天然芝及び人工芝のグラウンドを確保するとともに、年代別及び競技レベル別での試合機会を増やし、誰でも参加しやすい環境を整備する必要があります。</p> <p>今後も、県協会や地区協会等と連携し、情報の共有化を図り、参加チームや登録者を増加させていくことが重要です。</p> <p>これまでの中期目標であった2022年目標の対しての達成度や現状、今後の長中期目標に対する現状の概要、今後の大まかな方向性などについて書いて下さい</p>		

NFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の 頁
2. 中期目標（2030年）		地区協会 委員会 シニア連盟
<ul style="list-style-type: none"> ・シニア登録チーム（35チーム） ・登録者数 700人 ・地域（地区）リーグの立上げ ・35歳、40歳、50歳及び60歳リーグの充実 ・各年代での全国大会（全国シニア、全国スポーツマスターズ等）への出場 ・シニア連盟の大会運営の強化（規律委員会等の整備や各カテゴリーからの役員選出） ・シニア審判員の育成及び強化（各チーム2人以上の3級審判員） 		

NFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の 頁
3. 長期目標（2050年）		地区協会 委員会 シニア連盟
<ul style="list-style-type: none"> ・地域（地区）シニアリーグの充実（全地域での実施） ・県リーグの1部、2部制 ・各年代での全国大会出場及び上位入賞 ・シニア登録チーム（70チーム） ・登録者数 1,400人 		

NFAアクションプラン2022→2026					全体 頁中の 頁
4. 現状分析					地区協会 委員会 シニア連盟
No. と 事項	2026年具体的目標	2022年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1. 普及	<ul style="list-style-type: none"> シニア登録チーム 40 登録者 640人 地域リーグの立上げ 	<ul style="list-style-type: none"> シニア登録チーム 36 登録者 580人 各カテゴリー1部制のリーグ開催 	90% 91% 0%	<ul style="list-style-type: none"> シニア連盟の認知度の向上 競技人口の拡大 0-35及び0-60 会場確保 	<ul style="list-style-type: none"> 県及び地区協会との連携 シニア連盟主催事業の充実 ホームページ等の充実 土曜日開催/ナイター開催
2. 強化	<ul style="list-style-type: none"> 各年代で全国大会出場 シニア審判員の強化 主審・副審の3級審判員化 シニア連盟の体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> 北信越代表として出場無 各チーム審判員の登録制実施 各チーム3級審判員2名配置 0-40, 0-50, 0-60から計8名選出 	0% 90% 90%	<ul style="list-style-type: none"> 各リーグの充実 各チーム運営の充実 役割分担の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 年間試合数の増加 リーグ等の運営の厳格化 審判資格獲得のためのシニア 連盟独自の助成、講習会開催 各カテゴリーからの役員選出
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2026年目標に向けての2022年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

5. 具体的アクション

委員会
シニア連盟
地区協会

No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
1	連盟役員	随時	機会ある毎に	広報活動	積極的に
2	連盟役員	毎年	連盟委員会等で	強化策	検討

↑現状分析での事項No. に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です